

令和2年度 第3回図書館協議会

書面会議資料

令和3年2月25日(木)

柏市立図書館

目 次

1	柏市立図書館協議会委員名簿	1
2	令和2年度事業報告（11月以降）	2
3	2年間の図書館協議会の総括	6
4	令和3年度の事業構想	11
5	柏市立図書館資料収集方針（案）について	14
6	意見書の提出について（お願い）	15

【別添資料】

（別添1）柏市立図書館資料収集方針（案）

（別添2）意見書

1. 柏市立図書館協議会委員名簿

令和3年2月25日現在

番号	選出区分	氏名	職等	役職
1	学校教育 関係者	かとう けいこ 加藤 桂子	元柏市立酒井根小学校長 柏市学級経営アドバイザー	
2	〃	ささま ひろみ 笹間 ひろみ	柏市学校図書館コーディネーター	
3	〃	おおの みやこ 大野 都	柏市学校図書館アドバイザー	
4	社会教育 関係者	まつきよ ともひろ 松清 智洋	NPO法人柏ソーシャルキャピタル 協会理事	副会長
5	〃	はむら たいが 羽村 太雅	柏の葉サイエンスエデュケーション ラボ会長	
6	〃	みやじま きりえ 宮島 衣瑛	一般社団法人 CoderDojo Japan理事	
7	家庭教育の向上 に資する活動を 行う者	くぼた ともこ 窪田 友子	東葛飾地区母親読書センター会員	
8	〃	うえの ひろみ 上野 妃呂美	元柏市立保育園父母の会連合会長	
9	〃	ますやま あけみ 増山 暁美	柏ふれあいブックスタートの会 副委員長	
10	学識経験者	みうら あきひろ 三浦 章宏	元千葉県立西部図書館長 千葉県立西部図書館主任上席司書	会長
11	〃	すがはら きょうこ 菅原 京子	高田松ヶ崎地域柏市民健康づくり推 進員ブロック長	
12	〃	たんま やすひと 丹間 康仁	千葉大学准教授	
13	その他	たなか れいじろう 田中 礼二郎	公募委員	

(敬称略)

任期：令和元年6月1日から令和3年5月31日まで

2. 令和2年度事業報告（11月以降）

○実施した主な事業は以下の通りです。

1 「柏のむかしばなし」読み聞かせ動画を図書館ホームページで公開

「柏のむかしばなし」は、伝承・民話・慣行等について市内の古老から聞き取りを行い、まとめられたもので、昭和60年に柏市教育委員会から発行されました。

昨年柏市教育委員会では、新型コロナウイルス感染症の影響による小中学校の臨時休業中に学習動画を配信し、この取り組みの一環として、図書館では「柏のむかしばなし」の読み聞かせ動画を2話制作しました。

今回さらに2話を追加で制作し、全4話を図書館ホームページで公開しました（令和2年12月）。市内小学校近くのお話となっており、小学生が地域を知るきっかけとなることを期待しています。

【公開中の動画】

- ・「鷲山のむじな」（土小・藤心小・増尾西小地域）
- ・「雉子とにわとり」（柏一小・柏五小地域）
- ・「野馬を呼ぶ丘」（柏四小地域）
- ・「丑の刻まいり」（藤心小地域）

【動画 URL】

<https://tosho.city.kashiwa.lg.jp/material/mukashi.html>



「野馬を呼ぶ丘」より

2 「かしわストーリー第9号」を発行（令和3年1月8日）

柏市立図書館では、「柏市図書館のあり方」の実現に向けて実施している様々な事業のお知らせとして、「かしわストーリー」を発行しており、令和3年1月に第9号を発行しました。

（主な内容）

- ・中学生ビブリオバトル（知的書評合戦）をオンラインで開催
- ・図書館システムのリプレイスとホームページのリニューアル
- ・令和2年度柏市立図書館協議会（第1回、第2回）
- ・「柏のむかしばなし」読み聞かせ動画を公開
- ・連携事業（調べる学習コンクール、みんなが選ぶ絵本30選展）

3 図書返却ポストの新設【柏の葉】（令和3年2月1日）

図書館機能の空白地域となっており、児童書の利用が増加している柏の葉エリアでの図書館利用の利便性向上を図るため、三井不動産株式会社の協力により、ららぽーと柏の葉北館1階に返却ポストを設置しました。これまで図書返却ポストは18か所の図書館本館・分館・こども図書館のみに設置しており、民間施設へは初めての設置です。

利用時間は、施設休館日を除き、午前10時から午後11時までです。



4 資料収集方針の見直しに係る検討会議の開催

蔵書構成の最適化を図るため、資料収集方針の見直しを進めています。これまでに職員によるワーキングを8回行い、資料収集方針案を取りまとめたところです(別添1参照)。

今後は新たな資料収集方針に基づいて資料を収集していくとともに、除籍を進め、蔵書構成の最適化を図ります。

5 連携事業

(1) おびコレ 2020・まち探検・子ども司書会議／小学校

昨年度の子ども司書が、皆さんに読んでほしいおすすめ本の「帯」を作製し、夏に本館にて開催した「おびコレ 2020」について、12月10日から学校近くの図書館分館でも展示を行いました。

まち探検、子ども司書会議では、今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、動画を撮影するなど、新しい連携の形が生まれました。

まち探検では、子どもたちが分館に来て職員にインタビューを行いますが、今年は事前に録画した子どもたちの質問やメッセージを分館の職員が見て、それに答える様子を学校の先生が撮影し、子どもたちに見せるという方法をとる学校もありました（南部分館）。

また、子ども司書会議では、司書の仕事や図書館についての説明動画を作成し、これを視聴してもらうことで集合形式での開催に代えました。

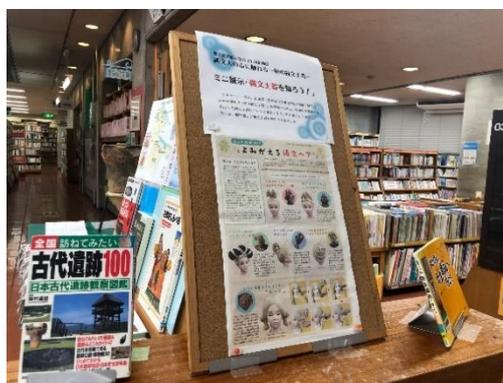
(2) みんなが選ぶ絵本 30 選展／kamon 柏インフォメーションセンター

令和2年12月1日から25日まで、kamon 柏インフォメーションセンター主催の「みんなが選ぶ絵本 30 選展」が開催され、推薦コメントとともに寄せられた81冊のお気に入りの絵本の中から選ばれた30冊が展示されました。

図書館では募集の案内、タブロイド紙の配付、絵本の展示（こども図書館）などの協力を行いました。

(3) 縄文土器に関する展示／文化課

柏市郷土資料展示室の企画展「縄文人の心に触れる―柏の縄文土器―」の開催に合わせ、令和2年11月11日から12月9日まで、市内の遺跡から出土した縄文土器や関連資料を本館で展示しました。



6 展示等

本館の1階と2階の展示スペースで次のとおりパネルや本の展示を行いました。

(1) 連携展示

- ・「はやぶさ2」に関する企画展示／柏プラネタリウム研究会（11/3～）
- ・Jリーグ YBC ルヴァンカップ応援企画展示／調布市立図書館（11/3～11/10）
- ・映画「新解釈 三國志」公開記念展示／千葉県フィルムコミッション（12/11～1/11）

(2) 通常展示

- ・霧の仕組み（12/11～12/13）
- ・【追悼展示】なかにし礼（12/25～1/8）
- ・ご存じですか？柏にもお城があったことを！（1/15～1/31）
- ・安心できるココロの居場所（1/14～現在展示中）
- ・【追悼展示】安野光雅および半藤一利（1/17～1/26）
- ・第164回芥川および直木賞受賞作に関する展示（1/26～）

ルヴァンカップ応援企画展示

FC東京のホームタウンにある調布市立図書館と連携し、関連資料を展示しました。



霧の仕組み

濃い霧が発生した日に、霧の仕組みや気象についての本を展示しました。



7 新型コロナウイルス対応

令和3年1月7日に発出された国の緊急事態宣言及び基本的対処方針を受け、一部サービスの制限を設けながら開館を継続しました。

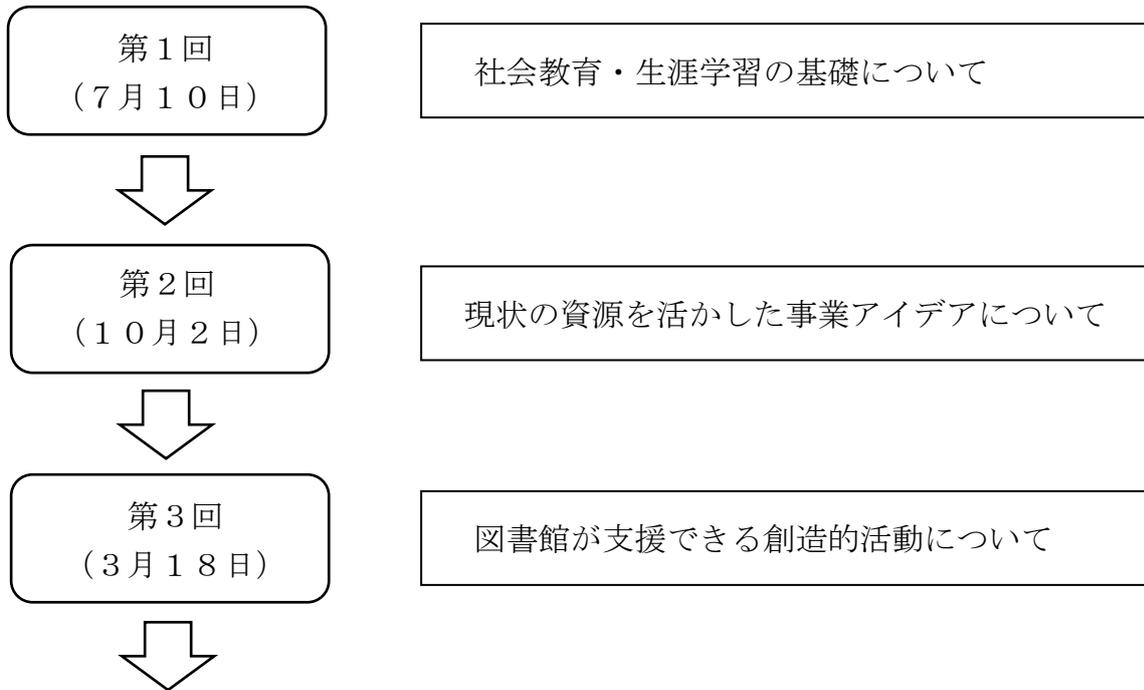
(2月25日現在、利用を制限しているサービス)

- ・本館の夜間開館
- ・短時間利用の協力
- ・閲覧席の間引き
- ・おはなし会やプラネタリウム投影等のイベント

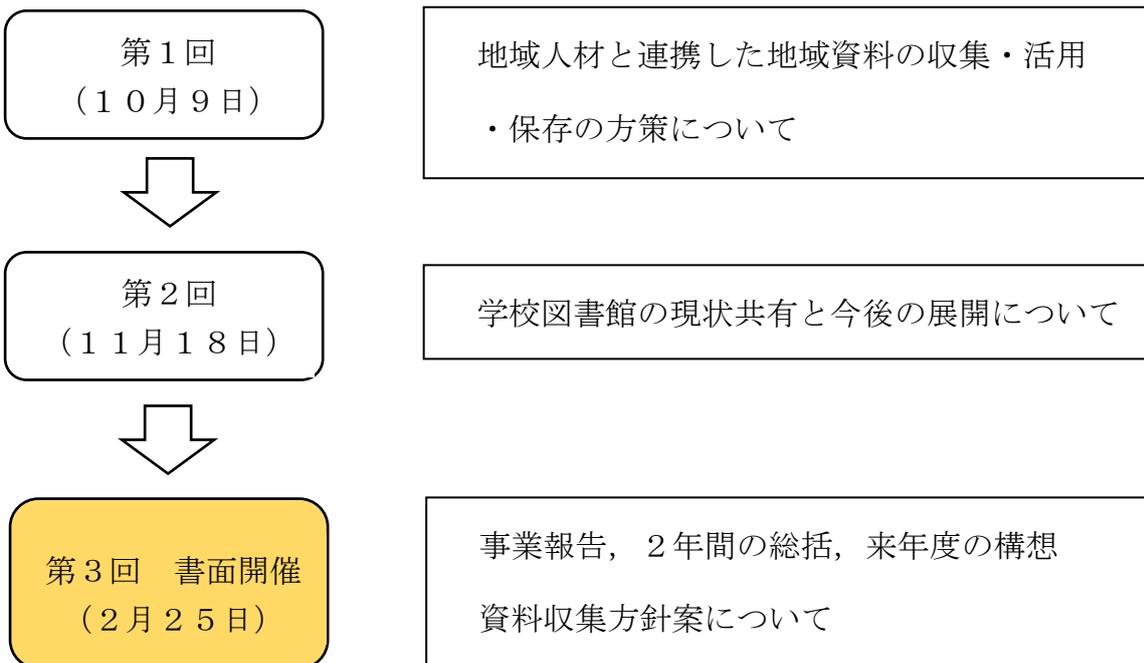
3. 2年間の図書館協議会の総括

～2年間の図書館協議会の流れ～

<令和元年度>



<令和2年度>



○2年間の図書館協議会で出た主な意見をまとめました。

【令和元年度 第1回（7/10）】

- ・ 情報提供 「社会教育・生涯学習の基礎」／丹間委員
- ・ グループワーク 「社会教育施設としての図書館の可能性」

＜いただいた主な意見＞

- ・ 得た情報を基に何かを生み出したり、アウトプットする場が必要。
- ・ 現状、場所が限られているので、学校や公民館などに出向いてサービスを行う必要があるのではないか。
- ・ 忙しい社会人に生涯学習やリカレント教育についての問題意識を持ってもらう取り組みも必要。
- ・ 社会教育施設は人と人とが繋がる場所。
- ・ 地域の中に知識に対して主体的に学びたいという欲求が強い人が多く、あらゆる世代の知的欲求をどう満たしていくかが次への重要なステップとなる。
- ・ 地域の中で相談に乗れるような「人」のアーカイブがあると良い。

【令和元年度 第2回（10/2）】

- ・ 情報提供 「限られた資源を活かす仕組みづくり～Exedraでの事業展開を基に～」／羽村委員
- ・ グループワーク 「現状の課題を踏まえ、あり方とリンクした今後の図書館事業のアイデア出し」

＜いただいた主な意見＞

- ・ 情報発信について、マスコミとどう連携していくか。
- ・ ワークショップをやりながら、情報は図書館の資料を閲覧しながら調べるといいうイベントを実施するのはどうか。
- ・ 運営会議を利用者自身で行っていくのはどうか。
- ・ 自前で準備するのではなく、色々な方と協働することで新しい価値が生まれる。
→『自前主義から協働主義へ』
- ・ 本館だけでなく分館の特色を出していき、本館との役割分担を図っていく。

【令和元年度 第3回 (3/18)】

- ・ 情報提供 「CoderDojo での創造的活動と学び」／宮島委員
- ・ 協議 「図書館が支援できる創造的活動とは」※紙面筆記方式での意見聴取

＜いただいた主な意見＞

- ・ ネット社会の情報提供（電子書籍，郷土資料のデジタル発信等）
- ・ 電源と Wi-Fi！！
- ・ 個人の「いきぬき」，「にげ場」
- ・ 発見する楽しさ，達成する喜び，学びの楽しさを共感できる場づくり
- ・ 好きなこと，興味のあることにとことん取り組める地域の核
- ・ 子どもたちの学びの種を広げる多種多様な学びの場の提供
- ・ 新しい知識と人との関わりを求める市民に応じられるような場

【令和2年度 第1回 (10/9)】

- ・ 情報提供 「地域資料の収集のきっかけとその必要性」／多世代交流型コミュニティ実行委員会代表 常野正紀氏
- ・ グループワーク 「今後の地域資料の収集・保存・活用に関する意見出し」

＜いただいた主な意見＞

- ・ 本館の他に分館がたくさんあるので，そこで資料を集めてイベント等ができるのではないかな。
- ・ まず地域に乗り込んでいって情報提供をして少し掘り起こしをする。
- ・ 過去のことはもちろん大事だし，それはそれで集めないといけないかもしれないけど，今起こっていること，今失われつつある短期的な情報を長期的な情報にしていくというのも重要な視点だと思う。
- ・ 地域ということに絡ませていかないと当事者意識，連携にならない。学校でやろうとすると地域の人たちに聞きにいかないといけない。
- ・ 使い方が分からないと，情報を提供する側も使う側も何もしないから，ただただ膨大な資料の山が増えていだけで，使い方を，みんなにこういう風に使うんだよというのを見せてあげることが情報提供者にとっても利用者にとっても重要なんじゃないかな。
- ・ まず体験できるイベントがあれば興味を持つきっかけになるので，コロナの状況の中で難しいけれど，イベントがほしい。
- ・ 講演会とか色々お話を聞くような，地域には素晴らしいものがあるようだとかみんなに広くアナウンスする必要があるのではないかな。
- ・ 地域資料の収集は目的ではなくて方法であり，地域を持続させるとかふるさとが今後 100 年後，200 年後続いてほしいとか，そういう中で自分たちの子どもであるとか孫であるとか育ててほしいということであって，その部分をまず抑えておかなければ。

【令和2年度 第2回 (11/18)】

- ・ 情報提供 「学校教育の中での図書館の活用について」／笹間委員
- ・ グループワーク 「社会教育施設として図書館が子どもたちに対してできることとは」

＜いただいた主な意見＞

- ・ GIGAの端末の充電器とかを図書館に置いておくと、使いやすくなる環境が整ってくるのかもしれない。
- ・ ネット環境をどんどん充実させ、図書館に行ったら何でも調べられるという場所になっていくような工夫が必要。
- ・ 資料の充実についても、紙ベースだけではなくてICTや色々な資料類、そういったところの保存にもきちんと力を入れて目を向けていかないといけないのでは。
- ・ 図書があるだけじゃなくて、そこが子どもたちにとっての居場所になる場合もあれば、アイデアを得られたり、問題解決のヒントが得られる場所としての図書館だし、館っていうのも建物とか施設だけじゃなくて、そこからネットワーク・繋がりが広がっていくような場所だと思う。
- ・ 子どもたちの質問に対して、気軽に子ども目線で答えられるような図書館司書が重要。
- ・ 柏市ならではの歴史を、町会長なり地元の古くから代々あるところの人に聞き取りをし、調べて資料を集めていく。インターネットに載っていないものが集められるといいのでは。
- ・ 講演会や職業体験の記録などをどんどんデジタル化して行って、それを共有できるようにしていけばいいのでは。

○図書館協議会の意見を基に今年度実施した事業は以下の通りです。

1 アーカイブ事業

(1) コロナ禍を記録した資料の収集

新型コロナウイルス関連の新聞記事や新聞折込，市内の写真，チラシ等を収集しました。今後，整理・公開を進めます。

(2) 地域情報の拠点化（高柳地域）

今年度は高柳地域において，中央公民館や文化課と連携し，地域住民とともに歴史や文化の掘り起こしを行いました。今後，高柳分館に地域情報コーナーを設置し，高柳の地域情報の収集・活用を進めていきます。

(3) 地域資料のデジタル化

新たに専用のパソコンとスキャナを導入し，地域資料のスキャン作業を進めています。この作業は，チャレンジドオフィスかしわと連携し，取り組んでいます。
※『チャレンジドオフィスかしわ』とは，柏市で障害のある方を対象に，会計年度任用職員として採用し，日々の業務を通じて就労スキルの向上や勤怠の安定を図ることにより，一般企業等への就労を円滑に行えるようにする取り組みです。

2 Wi-Fi の設置

本館の2階にWi-Fi環境の整備を行い，令和2年9月から運用を開始しました。パソコンやタブレットを持ち込めば，どなたでも無料で利用することができます。

3 図書館ホームページのリニューアル

令和2年11月から稼働した新システムでは，編集機能の強化や保存容量の拡大が可能となり，今年度実施した事業報告の発信を行いました。

今後は，写真・デジタル化した地域資料・イベントや展示等の事業の記録など，図書館の持つ様々な情報の保存や発信に活用していきます。

4. 令和3年度の事業構想

○令和3年度の事業構想は以下の通りです。

1 蔵書構成の最適化

今年度新たに策定した資料収集方針に基づき資料の収集を行い、除籍事業とあわせて蔵書構成の最適化を進めていきます。

2 地域の情報拠点化

今年度高柳地域で実施した地域住民との歴史や文化の掘り起こし事業を各地域に広げていき、地域情報の収集・活用を進めていきます。（参考：12ページ）

3 学びの拠点化

今年度は新型コロナウイルスの影響により事業展開が限定されましたが、次年度も引き続きオンラインによる中学生ビブリオバトルの開催などに取り組むほか、第四次子ども読書活動推進計画の検討を行うなど、子どもたちの学びを支えていきます。

4 交流の拠点化

今年度新型コロナウイルスの影響により実施できなかった交流型講演会事業を実施し、参加者のゆるやかなつながりを育てていきます。（参考：13ページ）

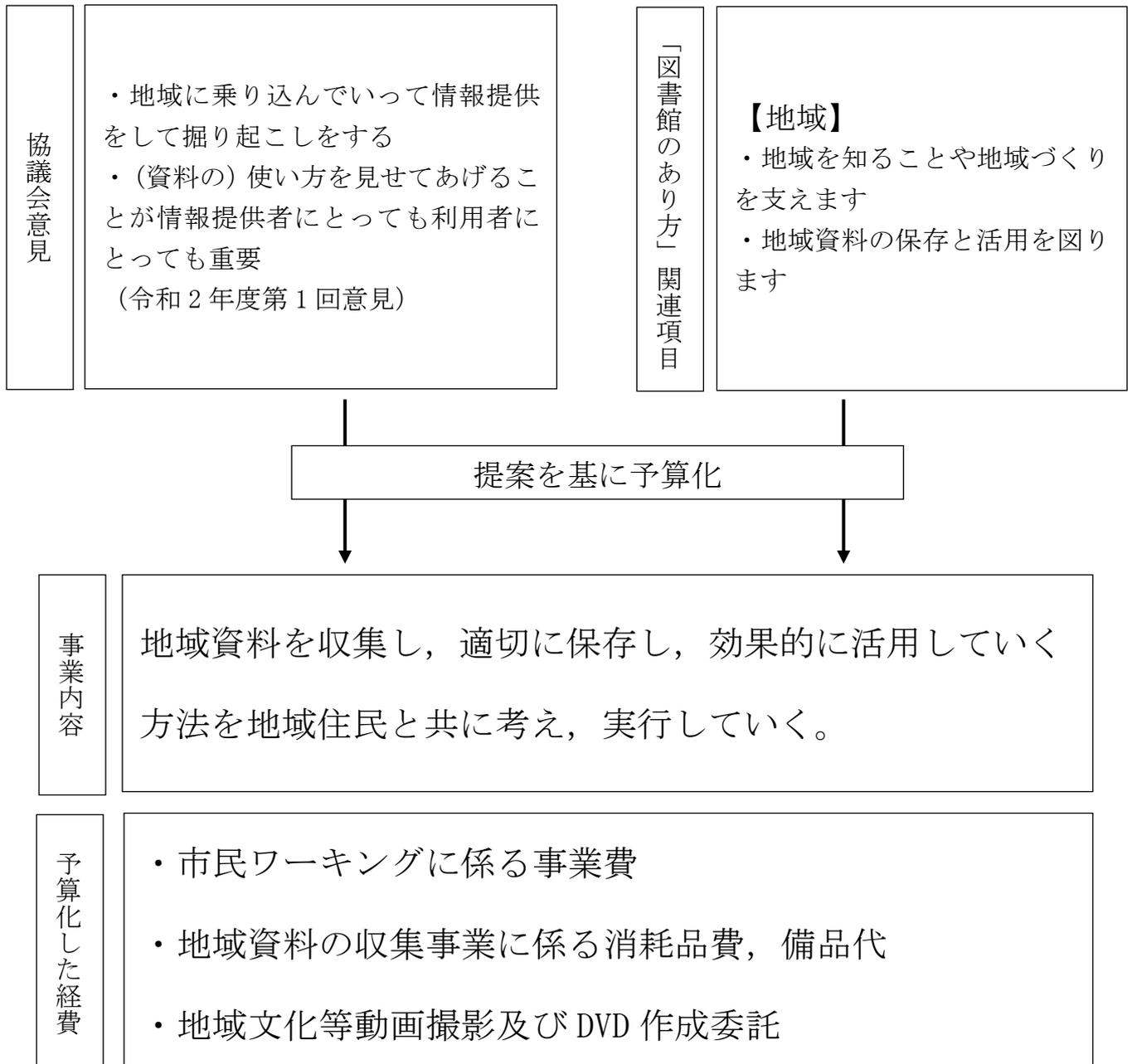
5 中央公民館との連携

柏市立図書館本館前の教育福祉会館（5階建て、3～5階が中央公民館）が、耐震改修工事を経て、令和3年1月18日にリニューアルオープンしました。今後はリニューアルした中央公民館と連携事業を検討してまいります。

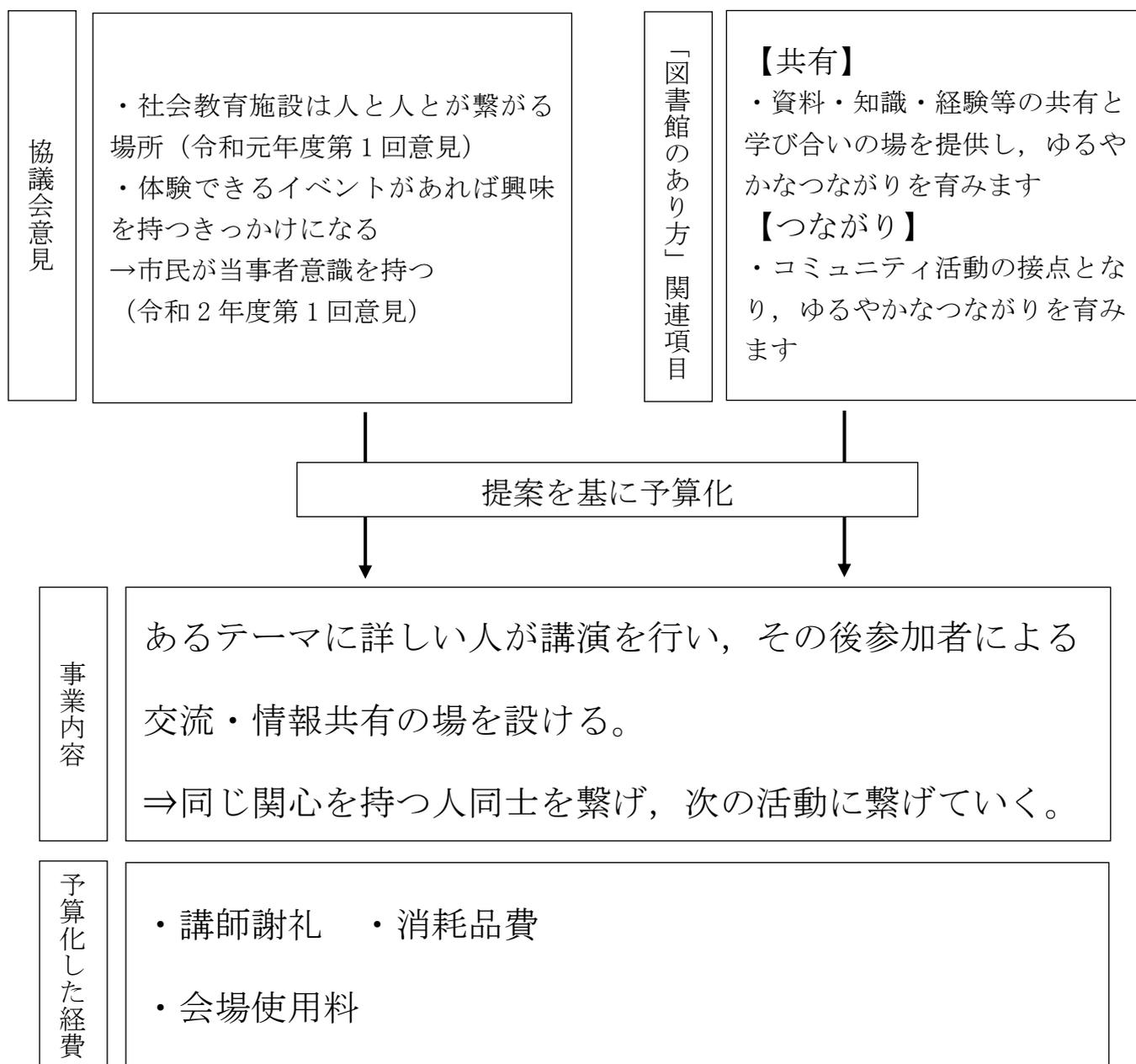
○図書館協議会での意見を基に以下を予算化しました（※取り上げた協議会意見は P6～10 意見総括の下線部分）。

なお、以下の項目については、令和2年度で事業計画をしていましたが、新型コロナウイルスの影響により実施できなかったため、次年度も取り組んでいきます。

【市民協働による地域資料の収集】



【交流型講演会事業】



5. 柏市立図書館資料収集方針（案）について

見直しを進めている「柏市立図書館資料収集方針」の案を、別添1のとおり取りまとめました。見直しの背景とポイントは次のとおりです。

1 見直しの背景

- (1) 平成20年の策定から10年以上が経過し、この間に社会経済情勢やデジタル技術の普及、情報の量やスピードなど、図書館を取り巻く環境は大きく変化し、これに対応する必要がありました。
- (2) 平成31年2月に策定した「柏市図書館のあり方」の考え方を反映する必要がありました。

2 見直しのポイント

- (1) 資料収集にあたっての考え方を、第2条（基本方針）と第3条（留意事項）にまとめました。
- (2) 予算や収容能力等の現実的な制約や様々な課題を前提に、バランスの取れた蔵書構成を目指すこととしました。
- (3) 潜在的・長期的なニーズについても留意することとしました。
- (4) 地域資料に対する姿勢について詳しく記載しました。
- (5) 図書館利用に係る障壁を解消するため、技術の進歩・普及に合わせて資料の形態や提供方法を検討することとしました。
- (6) 市民（利用者）向けに資料収集に対する考え方を記載しました。
- (7) 今後も必要に応じて見直しを行うこととしました。

【参考】 現行の柏市立図書館資料収集方針 URL

<https://tosho.city.kashiwa.lg.jp/about/PDF/decreed/syuusyuuhoushin.pdf>

6. 意見書の提出について（お願い）

今回の資料及び図書館協議会での2年間の議論から、ご意見やご提案についてご回答下さいますようお願いいたします。

別添2の様式により、3月10日（水）までにメールにてご提出くださいますようお願いいたします。

意見書のご提出を持って今回の書面会議へのご出席とさせていただきます。

なお、いただきました意見書については、会議録として取りまとめ、後日、図書館ホームページ等で公表いたします。